

「いい先生になる」ことを 目標としているから

「子どもの笑顔が好きだから先生になりたい。」この想いは、教員をめざす多くの学生の夢です。四天王寺大学は、四天王寺創建以来受け継がれている「慈愛の心と利他の精神」を基盤に、「先生になる」ことだけでなく、子どものために頑張る「いい先生になる」ことを目標にしているからこそ、多くの合格者を輩出しています。



教育現場を体感して学び 優秀な教員になることをめざします。

教師力養成システムでは、実践力を身に付けるために、少なくとも1年間は毎週継続的に小学校などの現場に入ります。子どもたちとの触れ合いや事案対応など心を動かし悩み喜び、また教員としてのさまざまな職務を経験することができます。実際に体感して学ぶことにより、教員採用試験に向けての力だけではなく、将来にわたって優秀な教員としての基礎力を身に付けていきます。

教育学部 教育学科 千葉 一夫 教授

「あなたらしい先生」を 見つけることができます。

教員をめざす方には、「教師になる」という強い想いをもち、どんな教師になりたいのかを考え、進化できる人になって欲しいです。「なぜ教師になりたいのか」「教師としてなにをしたいのか」「どのように実践するのか…」さまざまな人に出会い、苦しいことから逃げず、自ら向き合う中できっと「あなたらしい先生」を見つけることができます。

教育学部 教育学科 丸山 聡 准教授

本学教育学部独自の「教師力養成システム」

教育学部では、母校での教育実習ではなく、より多くの教育実践を通して現実的な環境に対応できる人材を育成するために「配属・継続実習」を実施しています。学校現場と協働して継続的に実習を行い、大学ではその経験を振り返ることで実践力を高めます。例えば、小学校教員免許のみを取得する場合、2年生で年間通してインターンシップを経験した同じ小学校において、3年生でも引き続き教育実習やインターンシップとして学び続けます。このように、長い期間にわたって学校現場に身を置いて同じ学校で学び続けることで、「いい先生になる」ための実践力を身につけます。

1年生

ハロースクール
ハローナーサリー

2年生

インターンシップ

3年生

教育実習
インターンシップ※
※取得免許で異なります。

4年生

教員採用試験

教員採用試験現役合格に向けたステップ（全学部共通）

教採e-learning講座

教採ステップアップ
春期集中講座

教採アドバンス
夏期集中講座

教採対策「教職教養」
直前講座

教員採用試験に
チャレンジ

先輩から学ぶ （大学1・2年生対象）

これまでの教員養成の伝統を生かし、教員をしている卒業生や教員採用試験を現役合格した先輩たちから後輩に向けて、「教員のやりがい」や「教採合格に向けた大学生活」などのアドバイスを聴くことができます。交流会を実施しています。

教採e-learning講座 （全学年対象）

学内はもとより、自宅でも利用可能で、教員をめざす学生の筆答対策として、自主学習をサポートするオンデマンド型学習教材を用意しています。

教採ステップアップ 春期集中講座 （大学1・2年生対象）

次年度以降の教員採用試験に特化した講座で、教員をめざす学生にとって、教採対策のきっかけ作りになる講座です。

学内模擬試験 （大学3・4年生対象）

教員採用試験を受験する学生を対象に毎年行われる外部模試を学内で実施（該当学年無料）、自らの現状を把握する絶好の機会です。年2回実施しています。

教員ガイダンス （大学3・4年生対象）

夏休み前や学内模擬試験の振り返りを機に外部講師をお招きし、教採対策のアドバイスを受けます。多くの先輩が参加しており、年間3回実施しています。

教員採用試験説明会 （大学3・4年生対象）

教育委員会の方から、教員採用試験だけではなく、求める教員像や採用条件、研修などについて詳細な教員として働くための情報が得られます。

教採アドバンス 夏期集中講座 （大学2・3年生対象）

本格化する教採対策を支援するために実施されるもので、昨年度合格した多くの学生が受講しています。

教採対策「教職教養」 直前講座 （大学4年生対象）

採用試験の直前に行われる講座で、受験生のラストサポートを応援しています。



教育現場でたくさんの経験を 積むことで教師力が身につきます。

教師力養成システムでは、教育現場で経験をつめることが一番の魅力です。教員採用試験において、教育現場での対応力を問われる傾向が強くなっているので、早い段階で基礎学力をつけておく必要があります。また、実際に子どもたちとたくさん接することで、子どもの立場に立つて考えることができる教師としての力が身につきます。

教育学部 教育学科 坂井 啓祐 教授

教員をめざすモチベーションと コミュニケーション力を高めます。

インターンシップから教育実習につなげるシステムは教員をめざす学生には大切な学びとなります。教員をめざすモチベーションの高揚につながるとともに、教員への志望の強さの見極めにもなります。また、教育実習における配属実習は、母校ではないので甘えがなく、教員として大切なコミュニケーション力を身に付けることができます。

教育学部 教育学科 堂上 雅三 准教授

